

ビッグサイズの白いゴザールのバッグ。ここには状況に合わせてオプションを取り込む。オプションは、PCのフォルダのイメージで、それぞれがバッグに入っている。例えば、アタラシのA4のバッグには「Backlook Air」、ゴザールのA5のバッグには、ウィンドウのケース入りiPod、USBメモリ、メモ帳、カードケースなど、ゴザールの目4のバッグには、リコーのデジタルカメラ「CR1 Digital」、名刺入れ、小銭入れなど、日によってフォルダの詰めも異なる。



会社と自宅の行き来、基本は手ぶら。【本当に必要な書類のもの】と聞いて、持ち物をスリム化した結果、ここにたどり着いた。自身がデザインしたカーター、HTTドコモ「NT700」、財布代わりにボックラ・ヴェネテのカードケース。当然、カード類も徹底的にスリム化した。そしてキー。この3アイテムを分けてポケットに入れて持ち帰る。荷物を持っていく必要のあるときは、白いゴザールのバッグに小さなバッグを入れて移動。

達人の鞆は、やっぱりシンプルでした



2泊3日程度の出張なら、ダニエル・ボブの鞆の中に、基本アイテムの入ったナイロン袋、メッシュの袋に整理されたランニングウェアも登場。仕事関連書類などが入る。日常業務に、要領がプラスされるだけだ。海外出張の場合は、ここに、タンビュールのアイマスクや、シャンプーとリンスのセットが追加される。ただし海外の場合は、持ち帰る品が増えるため、ハードタイプで、大きめのスウェーケースを使用することが多いのだとか。

持ち物はフォルダで整理する

トッフリーエーター
佐藤可十郎さん

35年生まれ、博報堂を経て、ジャンルを転々と経験する。日本を代表するアーティスト、デザイナー、クリエイター。佐藤可十郎の経営者としての経験は、日本経済新聞に掲載された。http://kazuhiko.sato.co.jp

あなたの鞆は軽い？ それとも重い？ 「できる男」を模倣した結果、ある共通項が浮かび上がった。それは「できる男」の鞆は軽い。そして「中身はシンプル」なだけだ。なぜだろう？ 鞆のスリム化を実現する達人のこだわりと、ケースごとの事例も対策を見ていこう。

仕事鞆は軽くていい

できる人ほど荷物が少ないって本当？

社長の時間の使い方

こんなに忙しいのに、なぜ、儲からない？

整理上手は仕事スキルも高いんです

森下裕道さん

34年生まれ、ナムコのカリスマ役員を経て独立。実業家を目指す者として、若手コンサルタント。営業に「顧客のニーズを汲み取り、最適な提案を行う」が得意。http://www.moriishi.com

森下裕道さんは、十数個のバッグをTPOや色に合わせた使い分け。この日はお気に入りのハイ・ウィンドウの鞆。この中、ロエベの鞆へ、一目、ゴザールのキーケースと財布、データを持ち多用途のUSBメモリ、録音機を入れておく封筒、手帳、ペンなどのアイテムを詰まった場所に登場。

これら基本品は、その日によってオプション——その日の仕事の資料や、インプットのための本（この日は『ビジネス「自伝的」経営観』高橋シズ子』が追加される。仕事の資料は仕事別に色分けしたホルダーで管理、ホルダーを鞆に入れるだけで、仕事の準備が完了する。

トッフリーエーターや若手コンサルタントなど、第一線で活躍する4人のできる男は、どんな鞆に——どんな物を、どんなふうに、どんな考えで——入れているのか。彼ら4達人たちの鞆の中身＝オリジナルスタイルを、誌上で公開する。

鞆がぶ厚い人の言葉に信頼感なし

高城幸司さん

34年生まれ、リクルートを経て、企業と組織の両方からマネジメント・営業・マーケティングの経験。http://www.gochi.com

切れるポカリスエットを鞆に入れておく。http://www.gochi.com

